

コミュニティ講習会でもグラフィック！

名古屋市役所主催で地域団体の方々に1年に1回受講していただく、「コミュニティ講習会」があります。ここで、「会議運営のコツ」をお話しました。

☆コミュニティでも要望のある会議運営

町内会・自治会、学区連絡協議会、区政協力委員、女性会などなど、地域にある様々な団体から1名の方が参加します。人権の講話や地域活動の事例発表などがあります。

昨年までは、この話題に加えて会計の講話がありました。今年は、参加する方々からのリクエストで「会議運営のコツ」となりました。

民主的に進める会議が地域活動にも求められていることがわかります。



☆内容は

講習会とはいえ、ファシリテーターが行うのですから、もちろん、ワークが入ります。透明な団体運営についてお隣同士でバズ（2～3人で簡単に感想などをシェアする方法）をし、3～4人が発表しました。その発表を職員さんのお力を借り、ライブでスクリーン映しだしながら進めました。見える化の効果を体感していただきました。

次に自分で書いてみる、簡単なファシリテーション・グラフィックの体験をしました。

みなさん、予想以上に活発に話し合い、グラフィックもしてくださいました。

☆ふりかえり

予想通り、参加されたのは高齢の男性がほとんどでした。話し合いはうまくいくのか？ファシリテーション・グラフィックできるのだろうか？という懸念が掠めたのですが、さすが、地域でご活躍の方々でした。今度は、もっと他の人にも話し合いが見えるように、ホワイトボードや模造紙で挑戦してみてもいいかもしれません。

また、地域団体のトップの方は他の学区の方とは会議等でご一緒になることもよくあるそうです。トップを支える方々は、そういう機会は少ないそうです。今回の様子から、トップ以外の方々も交流できる場が求められていると感じました。